

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和2年度第1回相模原市立図書館協議会				
事務局 (担当課)		相模原市立図書館 電話：042-754-3604(直通)				
開催日時		令和2年8月20日(木)午後2時30分～4時				
開催場所		相模原市立図書館 2階 視聴覚室				
出席者	委員	8人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	9人(図書館長、相模大野図書館長、橋本図書館長、他6人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		<p>1 議題 (1) 令和元年度図書館事業報告について (2) 令和2年度の予算等について</p> <p>2 その他 (1) 報告 ・新型コロナウイルス感染症に係る図書館の対応について (2) その他</p>				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〇 は委員の発言、 △ は事務局等の発言)

1 議 題

(1) 令和元年度図書館事業報告について

事務局から資料に基づき説明し、質疑応答を行った。

【資料 1】令和元年度図書館事業報告について

- 令和元年度は、図書館としてどのような1年であったか。印象で構わないが、総括的に教えてほしい。

主な取組として、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた機運の醸成に係る図書の展示等を4館で行った。また、定例的な事業についても、しっかりと実施できたと考えている。

一方で、新型コロナウイルス感染症については、本市では比較的早い段階で感染者が確認されたこともあり、2月以降はイベントの中止、3月2日から臨時休館となった。令和2年度についても、市全体の方針として、主催イベント等について12月末までは原則中止が決まっている。

臨時休館中は本の貸出ができず、市民より多くのご意見をいただいたが、6月の再開に向けてスタートを切れたことは良かった。

- 令和元年度は年度末にコロナ禍が始まり、令和2年度にかけて、各指標等について影響が生じるものと理解している。今後の状況を踏まえながら、事業の見直しを図る必要もあるかもしれない。

相模原市の図書館では、各館でそれぞれ多くのイベントをやっているのが特色だが、中止になったことは残念である。

臨時休館中に市民から多くのご意見をいただいたとの説明があったが、改めて図書館の存在意義や大切さが見えてきたのではないかと思う。いただいたご意見については、丁寧にすくい上げ、サービスに生かしてほしい。

事業報告に関する今後の要望として、例えば、図書館はどの点に力を入れ、結果がどうなったのかということを中心に説明いただいた方が、委員にとっても理解しやすく、かつ意見も述べやすいと感じた。

4ページの「(2) 学校連携事業 調べ学習受入状況」について、残念ながら実績が無いが、別の形で関連するサービスを行っているとの説明もあり、図書館サービスと調べ学習との関わりを考える材料になるのではないか。

イベントについては、他の自治体の図書館を含め、子どもたちに向けて数多く実施されており、その重要性は認識している。一方で、子どもたちに向けたイベントだけで良いのかという問題提起は、これまでの協議会でも述べさせていただ

いた。

大人向けのイベントは、橋本図書館を中心に一部行われているが、数は少ないと思うので、今後力を入れてほしい。関連して、事業についての資料を提供して頂く際には、対象やどのようなイベントであったのかが分かるような工夫があると、より意見が出しやすい。

また、令和2年度はイベント実施が困難であると理解しているが、イベントが無くなるだけなのか、もしくはイベントに替わる何かがあるのか、図書館の考えがあれば伺いたい。

学校連携事業については、全体的な利用数が少ないことが大きな課題と捉えている。利用が少ない要因として、事業に対する学校側の認知度が低いことが挙げられ、図書館側のPRが不足していると認識している。

学校向けの周知としては、例年秋頃に「図書館利用ガイド」を作成し配付しているが、今後はできれば年度当初に配付し、より効果的な周知を図りたい。またこの他にも機会を捉えて周知を行いたい。

事業については、今後は大人向けのイベントを少しずつ増やしていきたいと考えている。例えば市立図書館では、今年度、高齢者に向けたイベントを検討している。

コロナ禍での事業実施について、人を集めてのイベントは実施が困難で、市の方針としても原則中止となっている。しかしながら、市民の文化的な生活のためにも、Webを活用した講演会の開催などを現在検討しており、今後チャレンジしていきたいと考えている。

(2) 令和2年度の予算等について

事務局から資料に基づき説明し、質疑応答を行った。

【資料2】令和2年度の予算等について

予算については、令和元年度と同程度の査定なのか。予算編成は新型コロナウイルスの拡大以前に進行していたかと思うが、予算への影響は無いか。

先ほどの説明にもあったとおり、減額の主な要素としては、図書館システム経費、施設運営費となっている。図書館システム経費は、新システムの開発完了に伴い、開発費用が減額となった。施設運営費は、相武台分館の非常勤職員について、制度改正により会計年度任用職員としての任用に変更されたことに伴い、関連予算が他課へ移行したものである。この他は令和元年度とほぼ同程度の査定である。

図書資料充実経費は、若干ではあるが増額している。図書等の購入予算については、政令指定都市の図書館では、最も少ない状況が続いている。資料の充実は

図書館の根幹であるので、今後も増額に努めていきたい。

2 その他

(1) 報告

- ・新型コロナウイルス感染症に係る図書館の対応について
事務局から資料に基づき説明し、質疑応答を行った。

【資料3】新型コロナウイルス感染症に係る図書館の対応について

- 新型コロナウイルスの流行という初めての状況下において、試行錯誤している様子が伺えた。本日報告のあった対応状況を踏まえ、協議会としては引き続き図書館の活動を注視していくこととしたい。

(2) その他

次回の図書館協議会については、10月～11月頃を目途に開催を予定している。

以上

相模原市立図書館協議会委員出欠席名簿

	役 職	氏 名	所 属 等	出欠席
1	会 長	鈴木 良雄	元専門図書館協議会理事・事務局 長	出 席
2	副 会 長	高柳 眞木子	みらい子育てネットさがみはら 連絡協議会	出 席
3	委 員	佐藤 正文	相模原市立小学校長会	出 席
4	〃	榎本 泰行	相模原市立中学校長会	出 席
5	〃	高井 登志子	相模原市公民館連絡協議会	出 席
6	〃	金子 友枝	相模原市社会教育委員会議	欠 席
7	〃	小山 憲司	中央大学文学部教授	出 席
8	〃	井狩 芳子	和泉短期大学児童福祉学科教授	欠 席
9	〃	三木 涼子	公募	出 席
10	〃	水田 繁生	公募	出 席